

公益財団 日本財団
会長 笹川 陽平殿

特定非営利活動法人ほっとあい
理事長 渡邊 典子

日本財団ROADPROJECT助成事業の期間延長のお願い

常日頃から、当法人の事業に対しまして、ご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

東日本大震災の発生から、一年が過ぎました。この間、私どもの出来る範囲ではありましたが精一杯、支援活動をさせていただく事ができました。

命を守る物資支援、心の慰安の支援、心が元気になる支援、心の自立の支援と、支援の内容は、平行しながらも変化して参りました。多くの方々との出会いもあり、貴重な体験を数多く積むこともできました。これも偏に、貴財団の助成金が、速やかに提供されたからに他なりません。心より感謝申し上げます。

さて、完了報告の時期が参りました。24年3月24日の活動が今年度の最後の活動となりました。別紙の通り、実施事業の支出が助成金を下回りました。差額を財団に返還しなければならないことになっておりますが、4月からも、継続して行っていきたい事業がありますので、事業期間の延長を是非お願いしたいと存じます。

継続希望事業

「リンゴの貯金箱作り」

被災地の山元町は、イチゴ・ほっき、リンゴの産地です・

特産のリンゴを使って張り子のリンゴの貯金箱をつくり、被災地からの製品としたいと話し合っています。住民の方々の生きがいと、少額でもお小遣いと、つくりながら仲間作が出来るように支援活動を継続したいと思っています。

「毎月第一土曜日のおしゃべりサロン・一緒に運動しましょう・交流・食事会」

講師を山元町の津波被災者の方々3名をお願いしています。「これは、心を元気にし自立に向けて一歩踏み出しの機会になった」と感謝の言葉を頂いております。また、さまざまな方々との、交流と、健康作りの場にもなっております。

主な事業は以上です。御高配の程、宜しくお願い申し上げます。

事業延長期間：平成24年4月1日から9月末

担当 渡邊典子・坂本一
電話 0224-52-8555
FAX 0224-52-8557
住所 宮城県柴田郡大河原町字町279-1